

猿ヶ京関所

(群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉 1144) (猿ヶ京関所資料館)

江戸時代、三国街道沿いに設けられた関所跡で、現存している役宅の一部を資料館として一般公開しています。猿ヶ京の関所は寛永 8 年（1631）、三代将軍徳川家光の時に開設されたと伝わります。「入鉄砲（いりでっぼう）に出女（でおんな）」といって、江戸へ武具が入ること、人質となっていた全国の大名の妻子が国元へ密かに帰ることを防ぐため、幕府は全国 53 ヶ所に関所を設けました。その一つとして、三国峠を越えた上野（こうづけ）側の三国街道上に猿ヶ京の関所をつくったのです。館内では通行手形等を展示しています。

みなかみ町による

